

郊外部の電線電柱類の景観対策における課題と景観向上策について

(独) 土木研究所寒地土木研究所 地域景観ユニット ○兵 庫 利 勇
同 松 田 泰 明
(独) 土木研究所つくば中央研究所 技術推進本部 南 朋 恵

1. はじめに

道路からの景観は地域の印象に大きく影響するが、沿道には多くの電線電柱が設置され、これらが沿道景観へ与える影響は大きい。特に道路背景に美しい景観を有する北海道ではその影響は大きく、地域の魅力を損なっている事例がある(写真1)。また、沿道の電柱類は、景観阻害はもとより見通しの悪さによる交通事故の誘発、電柱への衝突による致死率の高さや北海道においては冬期除雪の支障となるなどの課題も多い。そのため、国土交通省では無電柱化推進計画¹⁾を策定しているが、郊外部における電線電柱類の景観対策はほとんど進められていない。一方、最近の社会資本整備総合交付金制度の導入により、地方自治体による郊外部での電線電柱類の景観対策に交付金を活用しやすくなり、今後この交付金を活用した景観対策が期待される。



写真1 電線多線化の事例

そこで、北海道の郊外部の電線電柱類の景観対策における課題を踏まえ、電線電柱類の景観阻害を低減する効果的な手法に関する主な景観向上策について報告する。

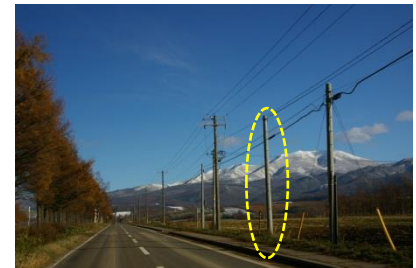


写真2 光ケーブルによる新たな既存電柱間への追加設置の事例

2. 電線電柱類の近年の課題と景観への影響

2-1 電線電柱類における近年の課題

通信需要の拡大や通信会社間の参入などにより、電線電柱類の増設や光ケーブルによる通信線の太径化などのために電線がより目立つという問題が生じている。この影響により、電線の重量が増して既存の電柱に共架できず、新たに電柱が設置されるなど景観阻害がさらに大きくなっている(写真2)。



写真3 調和していない茶系塗装の電柱

2-2 色彩による課題

国立公園や歴史的街並みでは、景観対策として柱を茶系や緑系に塗装している事例は少なくないが、これにより積雪地域では冬期にかえって目立つ存在となり、周囲と調和していない事例もみられる(写真3)。このように景観対策方法の適用を間違えるとむしろ逆効果となる問題もある

2-3 無電柱化による課題

電線地中化により、整備前にはあった街路樹が地中化後に全く存在せず、潤いのない空間となってしまう事例もある(写真4)。原因としては、地中化による地下空間の容量の問題のほか、沿道からの車両の出入りや日陰、落ち葉処理など、自宅前の街路樹を嫌う住民がいることや、このために積極的な道路植樹を避ける道路管理者の考えも影響しているのではないかと考える。



写真4 電線地中化事業で姿を消した街路樹

2-4 道路占用の課題

道路法施行令第11条では原則として道路敷地内での電線電柱の占用を認めていない。国道などにおける道路占用許可基準でも、止むを得ない場合のみ占用許可を認めているところである。しかし、道路敷地外に設置できる条件においても歩車道境界付近に占用を認めている事例が多い(写真3)。併せて、電線の横断占用については特に厳しい許可基準となっているが、現状では横断占用多く存在しており景観影響が大きくなっている。

3. 郊外部における主な景観向上策

郊外部における電線電柱類の効果的と考えられる景観向上策について主なものを以下に示す。

3-1 集約・共架・片寄せ

共架による集約等は、道路法施行令にも示されており、郊外部では特に効果的である。その際には視対象への視軸線障害が起きにくい側へ誘導が効果的である(写真5)。特に住宅や施設がない場合に有効である。

3-2 電柱のセットバック(オフセット)

市街地と異なり郊外部では土地利用の制約が小さいため、占用手続きの厳格化や沿道の地権者の協力などを得たセットバックが効果的である。その際には路傍植栽と組み合わせると電線電柱の存在感が軽減できるため、さらに効果が高くなる(写真6)。フランスの事例では、民地への大幅なセットバックや郊外部における配線ルートを変更することで景観向上に繋がっているため、このような手法も有効である(図1、写真7)。

3-3 道路占用基準の適切な運用

電線電柱の占用方法の適切な誘導は景観向上にとって効果が高く、特に道路の新設や拡幅工事などによる電柱移設であれば自治体や道路管理者の費用負担がないため取り組みやすい。これにより、衝突事故の低減や維持管理の容易さ、特に除雪効率化にもつながる。

4. まとめ

郊外部における電線電柱類の景観対策について、地中化以外の景観への影響を軽減できる効果的な手法について幾つか提案した。特に観光地に通じる郊外道路等においては、これら景観対策を行うことで美しい景観が創出されるため、地域の特色を生かした魅力向上にも寄与できると考える。



写真5 景観への影響の少ない側への誘導事例



写真6 植樹とセットバックの事例

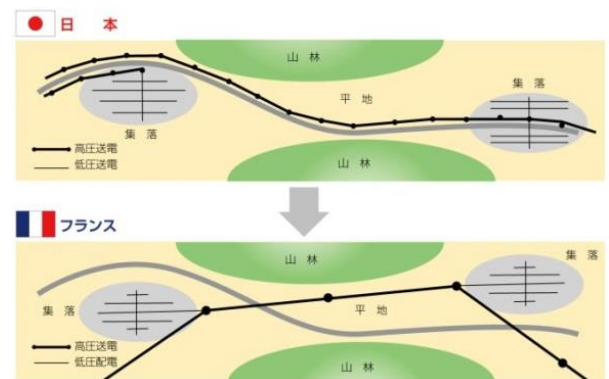


図1 日本とフランスの配電ルートの違い



写真7 民地への大幅なセットバックによる景観対策の事例